

平成25年4月～part II～ コッペル32 第一回 保守作業(4/21)



前日からの雨が上がったばかりで、どんよりとした曇り空。今にも雨が降り出しそうな気配の中、20名を超える方々に参加頂きました。まずは注意事項などの説明です。



いよいよ作業スタート。少しですが晴れ間も出てきました。しかし、冷たい風が強く吹き付けたため実際の気温よりかなり寒く感じたのではないのでしょうか？



コッペル32
(直方市石炭記念館)

塗装の剥がれが見受けられた部分は、タッチアップで修正。



車番プレートの真鍮部分は表面が酸化して、本来の輝きが失われていました。そこで、磨き剤を使って「磨き出し」を行いました。



作業を行うこと約1時間。上の写真と比べると、その違いは一目瞭然！修復完了直後の美しい輝きが復活しました。ヘッドライトもキレイに光っていますね。



磨き出した後、表面の酸化防止を目的にクリア塗料を吹き付けました。これで、当分は黄金色の輝きが保たれる筈です。



汽車磨きだけでなく、周辺の清掃も行いました。コッペル機の対面にあるC11形蒸気機関車(131号機)の周りの落ち葉や雑草を取り除いていきます。しかし、美しく輝くコッペル機のとこの車体を見ると、何だか可哀想に思えてきます・・・



こちらは石炭記念館の建物(新館)の裏手にある花壇周り。花壇やプランターが雑草に占拠されていたので、綺麗に取り除きました。折角の花壇が綺麗になりましたので、是非ともキレイな「お花」を植えて頂きたい所です・・・



僅かな時間で、これだけの雑草・落ち葉が「収穫」出来ました。タバコの吸い殻や菓子の包み紙などのゴミが殆ど無かった事がせめてもの救いでしょうか。



向野・直方市長が多忙の中、駆けつけて下さいました。他行事への出席のため、作業に参加頂く事は叶いませんでしたが最後にひと言ご挨拶を頂きました。

コッペル32
(直方市石炭記念館)